

議会だよりの入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

木の香薫る校舎に集う 桃李小 開校

3月定例会

- ☆ 平成9年度一般会計予算.....2P
- ☆ 常任委員会レポート.....4P
- ☆ 平成8年度一般会計補正予算、研修視察記.....6P
- ☆ 一般質問.....町政を問う (11議員)8P
- ☆ ありやどうなうとるかけ?.....20P
- ☆ 傍聴席・各種団体からひとこと.....22P

No.100号

1997年4月28日
(平成9年)

発行/入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会
富山県下新川郡入善町入善3-255
☎0765(72)1100 FAX0765(74)0067

けて新規事業



平成9年度一般会計予算104億1710万円

(仮) ふれあい交流プラザ完成予定図

ふれあい交流プラザ建設

3月定例会は、3月7日から21日までの15日間の会期で開かれた。桃李小学校建設、沢入ギ整備等の継続事業が完成すると同時に、21世紀を展望して、下水道、ふれあい交流プラザ等の各事業のスタートの年であり、各種補助金、交際費の削減等に努めたが、4年連続の100億円を超える大型予算となった。

各種補助金の一層の見直し等、あらゆる角度から審議した結果、一部の案件に附帯意見を付け、全ての議案を原案のとおり可決した。

歳入の特徴

景気の緩やかな回復が見込まれるが、本年度も、町税や地方交付税の伸びに大きく期待できないことから、財政調整基金から2億円、減債基金から3億円をそれぞれ取り崩した。

町税は対前年比2.8%の微増で31億4865万円であり、引き続き厳しい対応を迫られている。

町債は、ふれあい交流プラザ事業6億2300万円、新屋地区コミュニティ施設建設事業1億5370万円、まちのかおづくり事業1億4040万円など、合わせて15億5573万円を計上している。

歳出の概要

限られた財源の中で多様化する住民ニーズにもきめ細かく応えるため、行政経費の徹底した節減、合理化を図り、特に交際費、補助金の見直し等、行財政改革にも積極的に取り組んだ。

一方、虚礼廃止による報償費や食糧費の削減ならびに、旅費や需用費等、経常経費についても鋭意見直しを図り、最小の経費で最大の行政効果が得られるよう努めた。

以下、各事業について町民総合計画で策定している4つの施策体系に基づき、説明する。

笑顔があふれる健康のまち
JWS

リーディング・プロジェクト事業

(6億9488万円)
平成11年度までの三カ年事業として着工する。

健康の増進、機能回復、保健婦ステーションなど、健康センターとしての機能を充実することはもちろん、様々な人が気軽に利用でき、そして親しみのある健康と交流の場となるような施設にする。

在宅介護支援事業

(1億2095万円)

高齢者生きがい対策事業
(2799万円)

福祉施設入所措置費

(3億2074万円)

ホームヘルプサービス事業
(4066万円)

幼児医療費助成

(1520万円)

保育所運営費

(7億3746万円)

心身障害者福祉事業

(7848万円)

老人保健対策費

(6266万円)

2000年国体開催準備費
(335万円)

高齢化率が20%を超えた、わが町において国保税の伸びが期待できないが、住み慣れた家で家族とともに安心して、心豊かに暮らせる高齢者福祉の充実、また、延長保育など多様化する保育ニーズに対応し、産み育

21世紀へ向



整備されたさわやか漁村海岸

てやすい環境づくりを進め
る。

香り高い 文化のまち

づくり

教育用コンピューター導
入費 (1970万円)
いじめ防止対策費

(326万円)
農村活性化センター整備
費 (7000万円)

奥の細道サミット開催事
業 (863万円)
まちのかおづくり事業

(1億6525万円)
新屋地区公民館整備事業
(2億1164万円)

芸術文化振興事業
(4480万円)
下山芸術の森企画展示事
業 (947万円)

国際交流事業
(1311万円)

新屋地区公民館や農村活
性化センター(旧野中小学
校舎)を建設するほか、下
山芸術の森で、まちのかお
づくり事業に取り組み、外

国人建築家による休憩施設
などを整備する。

また、子供たちの教育環
境整備では、情報化に即し
たコンピューター導入やい
じめ防止対策を図る。

コスモホールに世界の名
器スタンウェイのピアノ購
入。8月に奥の細道サミッ
トの開催。中国ハミ市との
姉妹都市提携などで、さら
に国際交流を広げる。

自然を活かした うるおいのまち

づくり

幹線道路整備事業(5路
線) (2億8357万円)
町単道路整備事業

(1億7050万円)
県単農道改良舗装事業
(1億1719万円)

クリーン入善7129作
戦事業 (3558万円)
中央通り線整備事業

(2118万円)
下水道関連事業
(12億6060万円)

消防車更新費

防災対策費
(4094万円)

(2261万円)
ごみ焼却施設整備費負担
金 (8123万円)

インターネット、情報化
推進費 (4865万円)

消防自動車の更新や消火
栓の設置を進め、消防体制
を強化するなど町民生活の
安全性を高める。

「上野吉原線」など5つ
の幹線道路や中央通り線の
整備を進めるほか、市街地
と小摺戸地区で下水道整備
に本格着工。

さらに上原地区内に資源
回収常設ステーションを建
設し、環境面でも快適な生
活基盤を築く。

未来にはばたく 活力あるまち

づくり

新生産調整推進対策事業
(1億6759万円)
米消費拡大総合対策事業
(455万円)

園芸特産振興費
(1858万円)

土地改良区統合運営補助
金 (1200万円)

勤労者総合スポーツ施設
整備事業 (5218万円)

土地改良事業負担金、補
助金 (1億8848万円)

さわやか漁村海岸整備事
業 (3億4059万円)
漁港改修事業
(1億611万円)

商工振興事業
(2963万円)
旧吉田邸移築整備事業
(8600万円)

米価の不安定化や生産調
整の強化が進む中、とも補
償への助成金増額や集落営
農の推進などに取り組み、
地域の特性ある農産物のP
Rにも努め、安定した経営
基盤強化を図る。

また、各種融資制度を活
用し商工業の振興を支援す
るほか、漁業環境の整備を
進める。

観光面では、朝日町の旧
吉田邸を舟見山自然公園に
移築保存し活用する。

また、横山小学校跡地に
勤労者スポーツ施設を建設
する。

下水道本格着工

レポート

3月14、17、18日の3日間、それぞれ文教厚生、総務、産業建設の各常任委員会が開催され、付託された議案を審議した。

特に今回は、新年度予算の審議とあつて白熱した議論を展開し行財政改革についても深く論議された。

その要旨を報告する。

文教・厚生

ホームヘルプサービス、在宅介護支援事業等に予算を大幅に増額

デイサービス、ショートステイなど町民の要望が高まっている中、新規事業としてふれあいの町づくり事業の補助金などが含まれ、ぜひ軌道に乗せるとともに在宅介護支援活動がますます重要になっているので、支援体制に万全を期された。

多くの町民に利用されて来たが、近年は老朽化と施設が不便なため敬遠され、利用者が減少している。町民の要望に応え、喜ばれ、利用者増につなげるため、改装等を含めた検討を要望する。

武村福祉会館を改装し利用者増を

大幅な税収の伸びが期待できないため、基金の取り崩しと町債発行が大幅なものになっている。
町財政の借金体質は明白であり、今後は事業を厳選し、起債残高の削減に努め、中長期的な財政計画を樹立

町民に理解される行財政改革を望む

行財政改革の推進が求め

し、町民の信頼に応えられたい。

総務

借金体質は明白 事業を厳選せよ

られている折、旅費や補助金、食糧費の見直し、削減の努力を評価する。
補助金の一律10%削減は一方的と見られがちであり、対象団体の理解を得る必要がある。

救命救急士の養成を

交通事故、救急活動の増加に対応するために、救命救急士の養成と配置を強く要望したい。



大阪芸大の学生による現地実習
(下山芸術の森アトリエ)



固定資産評価委員 青木幸秋氏の選任に同意

3月21日で任期満了の松田安治氏の後任に、選任することに同意した。

住所 桐山561番地

昭和7年9月3日生

常任委員会



稚魚放流作業

保健行政にもつと力を入れるべきである

公立病院を持たない本町では、21世紀に向け、町民が健康で、いきいきと、誇りをもって暮らせる町にするために、キメ細かい保健行政を推進されたい。

下山芸術の森

アートのスペース

条例の一部改正

町民の中に、多額の投資と効果という面で、今後の

維持管理等を含めて懸念する意見がある。今後は細心の注意を払い町民に親しま

れる芸術文化の向上につながる施策を講ずるよう、特に申し添える。

産業・建設

農家負担を増やす

公共事業は止めよ

農家負担を増やす新たな農業関係公共事業は取り止めるべきである。農家の負担はすでに限界である。

魚単ブロックや並ブロックの効果は、甚だ疑問である。

排砂には細心の注意を払うこと

ワカメ栽培、稚貝、稚魚放流など補助事業が投資効果が上がるように、排砂には細心の注意を払い、漁業者の声をよく聞き、早急な対応を強く要望する。

舟見簡易水道の新たな水源を早急に

舟見地区の上部は、たびたび水が出なくなり、住民が困っている。新たな水源確保の調査費計上は評価する。早期着工を求める。

庄助川の維持・管理は町の責任で行うこと

町で唯一つの湧水を水源とする庄助川を守るためにも、改修は危険箇所にとどめ、維持管理は町の責任で行うべきである。

下水道の早期着工の期待に込める努力を

下水道の整備は町の最大の事業になる。実施は条例を遵守し、町民の理解を得るよう周知とPRに努め、早期着工の期待に込めるよう要望する。

議員提出議案

左記の意見書を国に提出した

地方自治法第99条第2項

議会は、当該都道府県市町村の公益に関する事件につき意見書を関係行政府に提出することができる。

日韓・日中新漁業協定の早期締結を求める

国会決議・与党合意に基づき、政府は、韓国及び中国に対して、速やかに200海里全面適用を実現し、我が国漁業と漁村の活性化を図ることを強く要望する。

医療費負担増の凍結と抜本的医療制度改革を求める

政府においては、まず我が国の医療制度の抜本改革について国民論議を進め、早急に合意を得るべく努力するよう強く要望する。

自然災害に対する国民的保障制度の創設を求める

地震等の大災害時における被災住宅等の再建が円滑に進められるよう国民合意が得られるよう、新たな災害保険・共済制度の創設など積極的に検討されるよう強く要望する。

一般会計補正予算



プール建設現場

ひばり野小プール建設

今回の補正予算は減額したものの、増額したものの総額で1億9778万9000円となった。
その主な事業は次のとおりである。

総事業費、1億2000万円
浄水型で、災害時の生活用水
にも活用できる

ひばり野小学校に25m6コース、幼児用の各プール及び更衣室など附帯設備を新設する。

このプールは地域住民の緊急避難時の飲料水としても対応でき、国庫補助は従来の1/2となるものである。本事業の確定に伴い今まで使用していた社会体育館のプールは廃棄される。

東部清掃センター費、単年度事業の調整で1280万6000円を減額

平成7年から11年の5か年計画で朝日町三枚橋で建設中の東部清掃センターは総事業費、78億9855万6000円、うち入善町負担額は2億6355万4000円であるが、当初、短

期間で工事が進捗すると考えていたが、国庫補助の調整で長期となる見込みとなったため、減額したものである。

クリーン入善7129作戦事業に411万7000円増額

生活環境浄化のため、毎年、環境を守る施策を強化しているが、合併浄化槽に対し、一基当たり49万4000円の助成を年間20基見えていたが、28基に増加し、簡易焼却炉80個を118個に増やしたことが主な理由である。

横山小跡地利用の測量委託料
に123万6000円

労働省雇用促進事業団が主管する「勤労者体育センター」を平成9年度に建設する。

あらせ野(浦山新)集落営農組合に900万円
の補助金を交付

低コストで安定した農業を目指す町は、集落営農組合の組織化に力を入れていく。君島、舟見、幕ノ木に次いで、浦山新地区に営農組合を結成した。今回、農

業用機械整備に900万円助成した。すでに共同育苗施設を総事業費、6325万9000円で完成、今後の基幹産業発展に寄与するものと期待されている。

県営土地改良事業
に1億857万1000円

舟見地区、ひばり野小学校前の道路整備工事に1428万円、土地改良単年度

平成8年度

事業負担金、8231万円
補助金、1045万円を投入する。

町商工振興条例に基づき、2企業に補助金

「きららの里」の駐車場駐輪場整備に550万円、双葉ダイスの駐車場舗装と消雪工事に対し、383万7000円、各々補助金を交付した。これからも、条例に基づき、地場産業の育成に支援する。

補助金を受けて整備された駐車場

中央通り線の電線地下埋設事業に6319万7000円

永年の懸案であった駅前から国道8号までの、中央通り線は、寺田町交差点まで進捗し、計画どおり、工事が軌道に乗っている。

この道路は電柱を立てず電線は地中に埋設される。その工事費は、県単事業費1億560万円で、うち町

は40%負担となるので4224万5000円と町単独事業費、2168万円の補正となった。

さわやか漁村
海岸整備事業に
国の補正予算確定

順次進めている「さわやか海岸整備事業」に今回、国の補助金4200万円の増額が確定した。入善漁港の整備と共に、親しまれる海浜公園の要素を持つ本事業の完成が期待されている。

双葉ダイス

きららの里

研修視察記

「香寺町議会を訪ねて」

2月27・28日

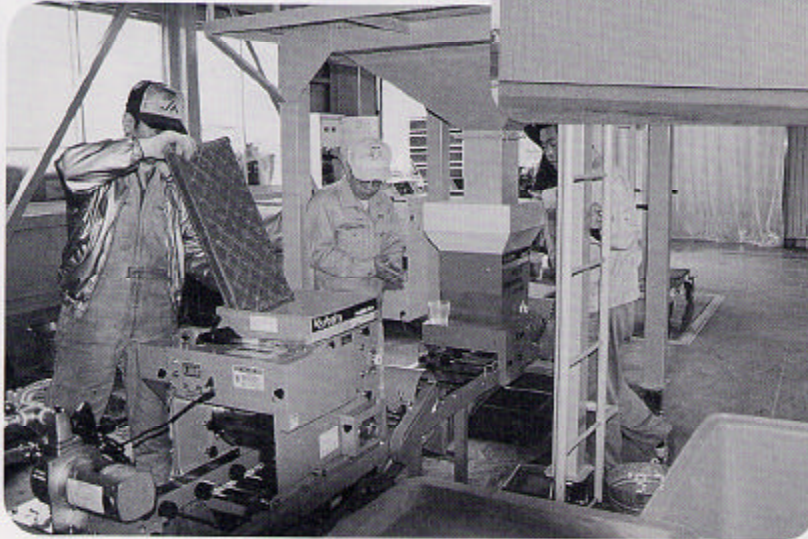
議会広報編集特別委員会一行は、兵庫県香寺町議会を視察した。この議会は、すでに106号の議会だよりを発行しており、全国議会広報コンテストで、優秀賞に輝いている。姫路市のベッドタウンとして栄え、昭和29年、2村が合併した当時の人口は9600人だったが、現在は2万1000人と2倍を越え、活気に満ちた町である。多忙の中、町長、議長、広報副委員長、局長の歓迎を受けた。



発行回数や編集の基本的方針は、入善町議会と変わらないが、大きく異なっているところは、議長が任期4年制で議会だよりの編集にも意を配し、精通していること。4人の委員は普段から職務分担し、責任編集が徹底していること。町民参加の紙面が多くとられていること。印刷所は10年以上、変えておらず、読んでもらえる広報づくりに印刷技術が貢献していることなどが特徴として感じられた。広報は奥が深く、さらに研鑽を重ね、町民と議会の太いパイプ役になりたいものと念願し、香寺町を後にした。

一般質問

第22回 定例会



播種作業の点検（あらせ野営農組合）

最新の育苗センター（浦山新）

ズバリ直言

町政を問う

11人の議員が登壇

3月議会の一般質問は12日、13日の二日間に行われた。

町長の5選出馬問題も取り上げられ、傍聴者の関心も高く、質問に立った11人の議員も力が入った。主な内容は次のとおりである。

（注）一般質問は本人が原稿を書き、原則としてそのまま掲載した。

- 町長の町政に取り組む基本姿勢
- 町長は5選出馬をどのように考えているか
- 拠点都市への準備課題
- ふれあい交流プラザと特養ホーム
- 新食糧法下の農政対策
- 女性行政の推進について
- バリアフリーの街づくり
- 地方分権と行政改革について
- 国際交流のあり方について
- 北陸新幹線と第3セクター化の条件について
- 防災計画について
- 下水道について
- ゴミ問題について



大助かり……ホームヘルパーの訪問

町長

8号線の下部に特養老人ホーム を建設できないか

野坂 俊一 議員（民政会代表）

平成12年以降にならざるを得ない

平成9年度予算
執行と財政計画
を問う

問 税収が期待できなく交付税、地方債等に頼り、負債総額105億円となったが財政上赤信号ではないか。
町長 景気が鈍化し税収の伸びが難かしくなった。しかし、町政発展のため、事業は計画的にやらなければならぬ。公債比率は健全であり、行政全般に施されている。

問 ふれあい交流プラザ、山下芸術の森美術館、長島邸、吉田邸に多額の債務を投入した結果、社会教育債が急増している財政状況を問う。
町長 ふれあい交流プラザは国、県補助金1億1000万円、起債23億5000万円と多いが、53%交付税として補助されるので高齢化社会達成のため、拠点として推進したい。21世紀は地方の時代、入善町も新川拠点都市と一緒に施策を強く推進したい。

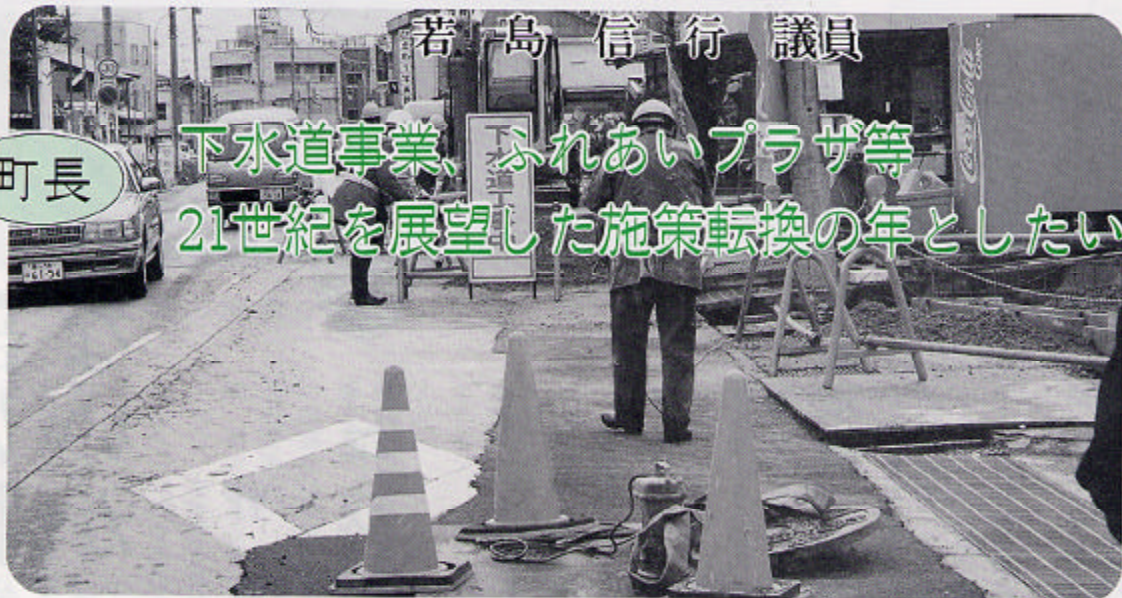
農政問題を問う

問 新食糧法、農協改正法が制定され、競争の時代に入ったが、今後入善町農業の基本的施策を伺いたい。
町長 新食糧法を旗印に生産流通が規制緩和される。3800haと26万俵の運営を、今後集落営農方式に転換して行きたい。

福祉医療行政
を問う

問 高齡化社会を迎え、施設医療サービス業務が急増してきている。特別養護老人ホーム建設の考えはないか。また在宅介護は家族の精神的、肉体的負担が大きい。町として、どの様な支援をされるのか問う。
町長 早急に建設は必要だが、県の計画では新川プロックのベット数は充足されているとして、平成12年以降にならざるを得ない。今後は期成同盟を結成し、運動をすすめていきたい。上田福祉課長 在宅介護について医療負担、給食施設改造、日常生活用具の給付方法を検討し、行政サービスに努めたい。上原環境課長 健康保健法医療保険法の改正により70歳以上の老人医療者が2.8倍サラリーマンが2.5倍の負担となる。外来者、入院者、投薬通院者についても負担が大きくなる。町としても支援態勢を強化し、サービスに万全を期したい。

平成9年度の町政執行と 重点施策は何か



中央通り線の下水管理設工事

町長

若島信行議員
下水道事業、ふれあいプラザ等
21世紀を展望した施策転換の年としたい

問 税収の伸び悩み等、厳しい財政事情の中で特に重点をおいた施策はなにか。
町長 新年度は下水道事業の着手、交流ふれあいプラザの建設、新屋コミュニティ施設の整備など21世紀を展望した施策転換の年としたい。

財政の見通しは

問 歳入予算では、借入金が多く、町税、地方交付税が今後、伸びにくく、公債費の償還計画、公債比率はどうなるか。
平崎企画財政課長 財政力を示す公債制限比率は10・6%で赤信号でない。償還計画の財源には積立金である基金も充てる。

行革の実現は

問 真の行政改革を実現するには、従来の制度や、仕組みを見直し、行革がなぜ必要かを町民に分かりやすく説明する必要があるか。
五十里助役 福祉、医療、下水道など、行政需要が増大し、県から委譲される事務量も増える。自主財源の確保に努め、組織機構、職員定数も含めて、抜本的見直しを図る。

直しを図る。

転作を町が取り扱わないとした

東和町長発言の

評価は

問 若手県東和町の町長が転作の受け入れを拒否したが、国の制裁の動きの有無、本町への影響と対応策を問う。

町長 今後、転作が実施されなかった場合は、国庫補助のからむ事業の凍結が考えられる。余剰米等の現状を考える時、正直者が馬鹿を見ないような措置を講ずるよう、働きかけて行く。

省力化農業の

実践を

問 省力化農業、低コスト化に向けた取り組み方針と集落営農に対する考え方を問う。

松島農林水産課長 耕起、代かき、田植えを同時に行う方法、施肥、農薬の一発施用などや、集落営農は強力的に推進するよう町も応分の助成策等、育成していきたい。

町長の5選出馬の
考えは

問 昭和56年初当選以来、4期目が10月17日任期満了となるが、豊富な経験を生かし、21世紀の展望にたつて町政発展に向け、5選出馬の考えがあるか、お伺いする。

町長 10月の町長選には出馬しない。町が取り組んできた、小学校の統合、杉沢の沢スギや、下山芸術の森整備等、一段落し町民の念願であった下水道、ふれあいプラザ建設等、本格的に着工される見通しがついたところであり、間もなく21世紀を迎えるに当たり以前から考えていた「引退の美学」と心得ており、残された任期を全力で町政の執行に当たる。

平成9年度行財政改革への取り組みで どれだけ改善されるのか

東 狐 和 議員（町民クラブ代表）

町長

食糧費、補助金など

約2560万円削減



バリアフリー体験……歩道の段差でヒヤリ

復命書提出など、3つの手
続きで初めて旅費が支払わ
れるのでカラ出張は絶対な
い。

女性施策の

推進について

問 女性プラン全体計画の
遂行は2000年までの6
年間でされているが、年次
目標と評価は示されている
か。また、進捗状況はどう
か。

五十里助役 数値的な評価
は未だ出ていないが、女性
議会をはじめ各種事業の推
進は100%である。

問 新年度の推進事業と重
点施策は何か。

助役 ①女性プランの推進
②各種講座、セミナー等の
開催、③啓発誌の発行④女
性議会への積極的協力⑤リ
ーダー育成等である。

バリアフリーの

町づくり

問 弱者に優しいバリアフ
リーの町づくりは。

町長 ソフト面とハード面
の両面において、心の隔た
りを除く。老朽化した東町
住宅の建て替えに向けマス
タープランを作っている。
高齢者や障害者に優しい町
づくりを進めたい。

問 行財政改革の断行でど
れだけ改善されるのか。

町長 経常経費の見直しを
図る。報償費は虚礼廃止等
による減額とし、前年度比
5.1%、交際費は町長、議長
教育長ほか前年度比11・4
%をそれぞれ削減した。旅
費は経費の削減や見直しで
5.9%、消耗品費は前年度比
9.3%、食糧費は13・1%
（6年度当初予算との比較
61・5%）削減した。補助
金は任意団体等を全般的に
見直し5件を廃止した。全
体では、8.7%、2560万
円を減額した。また事務処
理組織機構の見直しを図る。
問 農地林務事務所の発注
工事・談合事件について。
町長 誠に遺憾。これらの
事件が町に起こらぬよう厳
しく対処する。

問 町にカラ出張はないか。
鬼原総務課長 旅行命令簿

市町合併構想はどうか

西尾 政 巳 議員（民政会）

町長

入善町は一本立ちできる底力がある



よくがんばったね？ 乳児検診

問 今後地方分権が進むと、受け皿となる市町村の対応と、ある程度の人口規模が必要と考えられる。市町村合併構想や広域圏での対応は、

町長 指摘の通り地方自治体だけでは解決出来ない問題も出てくる。広域的な対応は新川広域圏で機能の多くは対応出来る。町は90億円の町債残高があり、40億円の基金がある。県下の市町村では上の下の方である。入善町は一本立ち出来る底力があると思っっている。なるべく合併しなくて財政的にやっつけていければ入善町を基本的に守りたい。

行財政改革に 取り組む決意は

問 人口減少、企業・産業空洞化、立ち尽す高齢者個人の孤独になってしまいうな社会や入善町にならないためにも行財政改革に取り組む町長の決意は、

町長 町は町民の税金だけでは、町民ニーズには応じられない。財源確保の問題や多くの課題を根本的に、国会で論議されたい。適切な答弁にならないことわびたい。

ふれあいのまち
づくり事業に
ついて

問 新たに長期展望にたつたふれあいのまちづくり事業は住民一人ひとりの福祉ニーズに応える活動を展開して、給食サービスや、介護サービスの教習等、社会福祉協議会が主体となってやるとの説明だが、具体的内容は、

上田福祉課長 五方年の継続事業であり、初年度は1600万円を国県町が3割ずつ負担し総合相談センターを開設し、弁護士による法律相談や、行政、税金、人権等全ての相談や社会福祉士による生活支援事業等、一名増員し、住民と密着した社会福祉協議会にしたい。

地方分権と行財政改革について

問 地方分権の推進は自己決定権の拡充と責任は重くなる。税収の実権は以前として国にあり、地方は人口減にかかわらず、いたずらに事務量が増えないか。

町長 多くの難かしい課題をかかえており、国・県で論議され導いてもらいたい。

美術館の建設予定地はどこか

田原 進 議員（民政会）

基本構想策定委員会を設置し検討

町長

したい



OA化が進む住民課窓口

問 美術館整備事業に伴う建設構想について、美術作品の購入と、建設予定地について問う。

町長 基本的には、郷土出身の世界的な画家である前田常作先生の作品を中心に町ゆかりの作家の作品を収蔵展示することになるのではないかと考えている。特に先生の初期の作品は入手が難かしく、当時の大作を中心に選定したいと考えている。

建設地には市街地の中心では、中央公民館跡地も一つと考えられる。その他、先生の出身地である棚山地内や下山芸術の森、水の小径周辺などが考えられる。

基本構想策定委員会を設置して検討したい。

問 OA化の推進による行政簡素化と待遇改善についての施策を問う。

町長 町では、昭和41年の税務の電算委託を皮切りに、ワープロ・パソコンの導入、平成3年に住民情報システムの導入を図り、OA化の推進を行ってきた。新年度より設計精算システム・人事給与システム・土地地図情報システムに取り組みことにしており、将来的には各種証明の自動交付など、より一層の効率化に努め住民サービスの向上を図っていく。

問 中国新疆ウイグル自治区ハミ市との姉妹都市締結の必要性について尋ねる。

五十里助役 平成6年度より両市町の特産品のスイカとウリを縁に、子供たちの絵画の交換・教育・文化・経済交流など、友好交流を積極的に行ってきた。いまウイグル自治区は非常に政情が不安定であり、姉妹締結を急ぐ必要があるのかとの指摘だが、現在事態は沈静化しており、ハミ市には全く影響がなく、心配はないとのことである。

4月中旬に、姉妹友好都市の締結することで、ハミ市・県を交えて、調整や準備を進めている。8月には、友好使節団の派遣を考えている。

問 オレゴン国際交流ハウスの建設について問う。

助役 21世紀は、国際化・情報化時代といわれる。次代を担う子供たちのため、教育交流を中心とした、行政や住民レベルでの幅広い国際交流を積極的に進めていく考えである。

フォレストグローブ市やパシフィック大学などの協力を得て、利用形態や管理運営等の課題について調査研究を進めていきたい。

新年度予算編成方針と主要事業は何か

大林 政雄 議員（新政会）

町長

下水道事業・ふれあいプラザ・新屋公民館
などが重点



最後の統合小学校

問 21世紀も指呼の間に迫り、国の内外騒然たる中に古今未曾有の財政的危機に直面したる今日、一刻も早く手当てしなければ日本の地盤沈下も懸念されると思考するが、いかようにお考えか。

町長 ご指摘の通り正に同感である。憂国愛町の信念の発露には敬意を表するところである。

問 財政構造改革元年と銘うった、本年度予算編成に当たり、如何なる信念で対処されたか。

町長 現在の世相に細心なる意を払い提案理由の説明通り、継続事業の小学校の統廃合、その他が一段落した今日、ハードな面では大

公民館建設等が主たる事業と考えられる。また、ソフト面ではホームヘルプ事業の拡大、舟見山への吉田邸の移転、ふれあいプラザ等が、考えられるところである。可能な限り町民のニーズにこたえるべく、経費節減と合理化を図り、精一杯の努力をしたと自負するところである。

行政財政検討
委員会の設置は

問 行政改革を強力に推進するため、英知を結集した町民による検討委員会設置の意志ありや否や。

五十里助役 設置すべきは勿論である。出先機関の統合、組織定数の見直し等に

関しては、いま、少し時間をいただきたい。ご指摘の町民活用を含め、担当課に指示してあり、その中で検討を進めたい。

財政運用について

問 減債基金の積み立てには異常な程に固執する傾向にあり、取り崩して他に有効に使用すべきと思考する。また、起債に歯止めが必要かあると思うが、どうか。

平崎企画財政課長 諸々の繰り上げ償還には国において財政投融資等からみがあり、町の意にそぐわない面もある。現在は補助金から起債に移行しつつあるのが国の方針であり、起債奨励を呼びから100%措置の確

的なものもあり、飛びつかざるを得ない末端行政の立場を了とされたい。

問 見果てぬ夢を追うかの如き北陸新幹線を、過重な負担までして躍起となつてゐる今日の運動のあり方について、以前から苦々しく思われるが、町の考えはどうか。

町長 お説の通り。ひとり入善が反対しても県下政財界の壁は、余りにも厚かつたことをご理解願いたい。

北陸線第3セクター
化への要望に対する
答えは

問 第3セクター化の影に泣く、沿線住民に深く思いを致し、町民の署名をもとに5項目を掲げ孤軍奮闘した先見の明ある貴職の活躍は、町史を飾るに充分だがその後、知事等に示した5項目はどうなっているか。

町長 15、20年先のことで、県としても将来的な変化も洞察し、検討中と思われる。後のことは10月選出される新町長に期待したい。貴員も選挙戦を勝ち抜かれ新町長と共に当該問題についてのご健闘を期待するところである。

保育所、児童館の 建設予定を問う



岡 島

功 議員 (民政会)

町長 平成10年度に新児童館を予定

増設される屋外子局

問 これからの少子化対策の施設面での充実、保育所、児童館の建設計画を示されたい。

町長 新児童館は平成10年度に入善小学校附近で建設を考えたい。保育所については、他市町村より数が多く充実していると思っ

問 少子化時代とともに、乳幼児保育の希望の増加により、保育の数が足りなくなったとのこと。今後の採用計画を示されたい。

町長 来年度は保母数が、4名程足りなくなる見込みであり、新規採用を考えてゆきたい。

予算のあり方は

問 来年度予算について、一般財源の確保が難かしいならば、歳出を抑えるのが一般町民の考え方と思うが、当局の考えを示されたい。

町長 町民の要望に応じて積極的に事業をこなしてゆきたい。また国からの補助金などで、債務もそんなに多くならないものと考えている。

問 来年度予算の補助金の削減は、金額の少ないものばかりだが、金額の大きなものは全然さわっていないが、理由を示されたい。

町長 一律カットは、いかなものかと考えるが、今後、メリハリをつけた見直しを図ってゆきたい。

問 来年度事業の削減の考えがあるか、示されたい。

町長 町民の要望は多くあり、将来に向けた資本投下も必要と思われるので、積極的に、事業を推進してゆきたい。

防災行政無線の 拡充を

問 防災行政無線の屋外拡声機の増設計画を示されたい。

鬼原総務課長 町内15局の屋外拡声機を設置しているが、9年度は4局の増設を考えている。住宅密集地を重点的に考えている。また個別受信機の普及を考えているが、9年度は補助の増額も考えて積極的に普及を図ってゆきたい。

問 防災会議運営規定によれば、「毎年度、当初に開催する」となっているが、開催の日時を伺う。

鬼原総務課長 2月27日、防災会議を開催し、新しい防災計画の承認をいただいた。今後も計画の見直しを図ってゆきたい。

住民サービスの 向上を

問 一部職員に、町民に対するサービスが足りないと思われるが、職員に対する姿勢をお示し願いたい。

松田住民課長 つねづね町長より正確、迅速、かつ親切に対応せよ、と指示されているが、窓口の混雑等で町民に満足を与えられない点もあると思われる。機器の増設等で待ち時間の短縮等に努めたい。今後わかりやすい窓口を目指して対応してゆきたい。

人口動態研究は町政の基本

広瀬 喜代志 議員（新政会）

町長

人口増は町としても課題



年々少なくなる入所児

間 予算編成にあたっての基本的な考えの中に人口動態を認識し、分析した上で行うべきだと思うが、どう生かされているか。また、住んで良かったと思われる町づくりとは何か。

町長 町政執行の基本的理念は、町政の主人公は町民である。この考えの基に、それぞれの予算を編成してきた。指摘のとおり町民の人口動態の現状を把握し、それぞれの分野で投資的効果を考え、町政を執行してきた。総合計画を考える時人口動態が最も大切な条件であると思う。「昔は十年ひと昔」といったが、今日では長いと思われる。人口増は町としての大きな課題

であり、今後も喜んで住む町づくりを進めたい。

間 行政の組織の中に、人口問題研究の専門係を置いたらいかがか。

町長 これからの少子化、高齢化社会、人口減が見られる社会において町政執行上、大切だと思うので、検討して企画財政課などで取り組みたい。

請願・陳情の

ゆくえは

間 楠木町政4期目における請願・陳情などの執行状況はどうか。

平崎企画財政課長 町民の強い請願、陳情については十分に理解している。町財

源で対応出来ないものについては、国県などへ積極的に要請して実現に最大限の努力を図ってきた。優先度や緊急性などを見極めて執行に努力している。また現在、議会で採択されている請願・陳情は80件である。

・道路水路関係	38件
・農業関係	10件
・健康福祉関係	10件
・教育スポーツ	4件
・その他	18件
執行状況	
・整備済執行中	49件
・計画策定	9件
・他の団体と協議	12件
・実施困難または他団体の実施	8件
・事業の取り消し	2件
であり、執行率は、ほぼ90%に達している。	ほぼ90%

行政も経営感覚を持ち 企業を育成し税収増を

本多 幸男 議員 (町民クラブ)

町長

人が集まる町づくりと
新規事業も誘致する



ビール製造が期待されるアサヒ飲料

問 健全財政を確保するには、歳入予算を堅実に見積らねばならない。入善町の町税収入の傾向と今後の推移をどのように分析しているか。

五十里助役 町の自主財源は42億5000万円のうち、町税が74%を占める。今後とも町税収入の動向を注視したい。

問 超低金利時代となって預金利息で運用しようとしていた、各積立基金の抜本的再検討が必要でないか。

助役 多くの基金があるが、運用益を目的とする基金は低金利時代で果実を期待できない。今はガマンの時期で、一般財源からの持ち出しは止むを得ない。

問 地方交付税は過大に見積っていないか。

助役 実績を吟味し、堅実に見積っており、決して過大に計上していない。

問 行政も経営感覚を身につけて、雇用創出、税収を増やすために、地場産業の育成と優良企業の誘致など積極姿勢が必要である。アサヒビールの誘致をどのように考えているか。

町長 アサヒビールは現在愛媛県と栃木県で工場を建

設中で、平成13年に完成する。その次は、ぜひ北陸工場を入善町にと強力で誘致したい。町を挙げて販売に協力し、今から運動を展開したい。

問 横山小跡地の「勤労者スポーツ施設」の概要を示されたい。

町長 労働省の補助事業で総工費3億5000万円でバレーホール2面、ビーチボール、バドミントン4面、外にテニスコート2面の施設となり活用を期待する。

問 新年度から実施する、幹線町道の整備計画はどのようになっているか。

島瀬建設課長 舟見リゾー卜線の舗装、上野―吉原線、小杉―幕ノ木線、平曾川―国道線の4路線本格着工と新規に、上飯野新―小摺戸線の歩道1kmについて一部着工に入りたい。

問 通勤時間帯の交通渋滞を解決する方策を考えているか。

建設課長 特に黒部川堤防を走る車は、渋滞と事故防止対策上、地元の皆さんが止めても良いと言えば、建設省は止めると言っている。

農村集落内道路の 消雪工事に補助金を

福 沢 憲 一 議員 (民政会)

島瀬建設課長

町生活道路整備事業補助金交付要綱を
一部改正し助成の拡充を計る



農村集落の消雪装置

下水道基金の積み立てを今後も積み立てを行うか

問 町は、現在下水道基金を積み立てているが、今後も継続して積み立ててゆくか。

町長 平成5年から1億円を2年間、2億円を2年間積んで来た。現在の積み立て総額は5億円強になっている。今後も2億円を積んでゆく考えである。

問 20年から25年後に、下水道事業の起債償還がピークを迎える。5年から10年後に、基金残高が相当あるからと言って、取り崩しをすると償還のピーク時には少子化による納税者人口が減少しているなか、一般会計を圧迫することが確実に予想される。取り崩しについての考えは。

町長 この事業は20年以上かかり、事業費は440億円位である。10年後位から償還のピークが始まるため、財政事情を長期的に見て、取り崩せない。

問 下水道事業に対してのPR不足ではないか。負担金等の話も大切であるが、この事業をなぜ実施しなければならないかと言

うPRが不足しているのでは。

町長 PRが不足しているとは認識していないが、水質保全や快適な生活環境を作る。また、現在ある自然環境を後世代の人達に残すために行う事業だということ、今後も強くPRしてゆく考えである。

農村集落内道路の 消雪工事に補助金を

問 昨年9月議会において農村集落内の町道や生活道路で町内会が行う消雪工事に補助金を出す考えはないかと質問しており、庁内で検討するとの答弁であったが、検討結果はどうなったか。

島瀬建設課長 建設課内や関係する各課と検討をした。その結果、第一段階として、町生活道路整備事業補助金交付要綱の一部を改正する。消雪工事という項目を追加し、町内会の要望に対応する。条件は民家が2戸以上延長は15メートル以上、パイプは鋼管で行うものにした。これからも無雪化推進対策として、色々なケースに補助金を町としての基準や条件を考えながら交付できるように検討してゆく考えである。

不要不急の事業が 財政を圧迫

九里 郁子 議員（日本共産党）

町長

行政を測る物差しは神の手にある



にぎわう児童館祭り

新しい児童館は 入善小周辺に

問 憲法と地方自治法が施行されて50周年の節目の年にあたり、その精神が生かされてきたか、柚木町政の16年を検証したい。「ふれあい交流プラザ」は大きければいいというものではない。不要不急の事業が進められた中で、財政は重大な状況になっているが、どう考えているか。二つ目の児童館とティサービスセンターの建設を確実にする予算措置をすべきである。公債

費比率は、黄信号から赤信号に向かっていっていると見ているかどうか。

町長 清潔、公正で住民本位の町政確立に努力してきた。不要不急かどうか、行政を測る物差しは神の手にある。交付税措置のある町債がほとんどである。児童館は入善小学校敷地内かその周辺の町有地。借金は他市町と比較して、それほど大きくない。

談合事件を どう思うか

問 県の事業で談合事件が

発生し、町の事業も懸念されているが、どう考えるか。「一位不動」という入札を、会計検査院は「談合があったと推定される『状況証拠の一つ』と分析した。どう思うか。条件付き一般競争入札の採用を検討せよ。」

町長 談合事件で逮捕者が出たことは遺憾に思う。厳正な競争を要請したい。入札システムは検討したい。

町営バスの運行を

問 町営バスの運行と福祉バス活用の考えを問う。

町長 民間バス会社の協力要請など検討したい。

公共料金に消費税 を上乗せするな

問 町の公共料金に、消費税増税上乗せをすべきでない。高額医療費の委任払いは、現在実施している朝日町や黒部市の公立病院を対象に、まず実施してはどうか。

町長 消費税増税上乗せをしない。委任払いは医療制度改革の動向を見極めながら前向きで取り組みたい。

炭カル袋は リサイクルに 反対する

問 炭カル袋はリサイクルに反する。発ガン性のあるダイオキシンは清掃センターや、家庭で使用している小型焼却炉は大丈夫か。

上原環境保健課長 新しい炉の完成に伴い収集体制と袋の見直し等、広域圏で協議されると思う。清掃センターは基準以下だった。ピニプラ類は不燃物として出して頂きたい。

宇奈月ダムの ゲートは開け つ放しにせよ

問 宇奈月ダムは完成しても排砂は問題なしと確認できるまで、ゲートは開けつ放ししておくよう、関係機関に働きかけるべきである。早月ダムは中止になったが舟川ダムは、どうしても必要だと考えているのか。

町長 宇奈月ダムは生命と財産を守るために必要であり、舟川ダムは地元の意見を尊重したい。

なっとるがけ？



完成した沢スギ自然館



沢スギ自然館ちや どういいう施設け

問 どれだけかかったがけ

答 文化庁が平成6年に天然記念物整備活用事業を新しく制度化し、全国で第1号の指定を受けて実施したものです。

答 沢スギ自然館のほか、林内の遊歩道や周辺の道路、駐車場の整備など、平成6年から8年までの3カ年で、総事業費は約4億6351万円です。うち国と県の補助金は2億7070万円です。自然館建設費は約2億63万円です。

問 館内はどうなっとるがけ

答 映像による沢スギの解説やパネルが展示してあります。また館内から水辺の様子が観察できる水槽が設置され、中にはトミヨなど水生動植物を観ることが出来ます。

問 開館、休館、入場料はどいがけ

答 開館時間は9時から16時30分です。休館は毎週月曜日と12月27日から2月28日までの冬期間です。入場料は無料です。



月の輪工法による災害復旧

防災計画の見直しは 終わったがけ

答 平成9年2月に開催した入善町防災会議で承認されました。

問 特徴は何け

答 地震災害予防の補足です。震度4以上の地震発生時における職員動員体制の明確化、高齢者など災害弱者対策、県

及び他市町村への支援協力要請計画などを新設しました。

問 自主防災組織ちや何け

答 災害発生から防災関係機関の機動力が到着するまでの間、地域の住民がまとまって活動するための組織。地区単位の結成を考えています。



まちのくお!? 下山芸術の森

新しいまちのくおづくり ちや何をするがけ

問 事業の内容はどいがけ

答 県が推進する事業で外国人の建築家に入善町の顔にふさわしい施設を設計してもらいます。

問 どこで何をするがけ

答 下山芸術の森で、休憩施設やトイレの整備を行い利用者の利便性をはかります。

問 どれぐらいの子算を使うがけ

答 設計管理に840万円、休憩施設やトイレ、階段の整備に1億1000万円の予定です。その財源は、県補助金2000万円、交付税で戻る町債9830万円、町の一般財源10万円を充てます。

町は行政改革を やっとするがけ

問 行財政改革検討委員会ちやいつ設置されたがけ

答 平成8年12月24日に設置し、助役を委員長に各課長で構成しています。

問 平成9年度予算に、どう取り組まれたがけ

答 実際費で110万円を節約し、食糧費については、8年度で642万7000円を削減、今年度も99万2000円を削減します。
また任意団体等に対する町単独補助金は廃止したもので55万円、削減したものは、3件で28万円です。

みなさんの請願のゆくえ

今定例会に提出された請願4件の審査結果は、次のとおりである。

○土地改良区統合整備（合併）後の助成の請願
採 択

○消費税率引き上げに伴う町の公共料金への転嫁に反対する請願書
継続審査

○医療保険の改悪に反対する意見書の採択についての請願
不採択

○火災の際に対する消火活動の水源確保に関する請願書
採 択

各種団体からひとこと

ボランティア

活動の内容

年間を通しての活動です。阪神淡路大震災、重油の流出事故等でボランティアに関心が高まったと思いますが、一部では、好きでやっている、ひまな人がするものとの傾向があるようになかなか仲間が増えないのが現状です。

編集の窓

☆重油流出事故の余韻が冷めやらず、ペルー人質事件は、未だ解決せず、世界中が注目している。一日も早い平和的解決を切望する。

☆国をあげて、改革が叫ばれているが、政治家の不正等、目に余る。行政の無駄は国民生活にのしかかる。町は削減額を打ち出したが、一層の経費削減に努めると共に、町民サービスを低下しないよう期待したい。☆今定例会で柚木町長は、引退を表明した。

4期16年間、県内でもユニークな町長として、文化面の充実に努めてきた。評価については、10年後を見守りたい。

☆議会だよりも100号になりました。今後とも議会の様子ができるだけ詳しくお知らせするよう努めます。

- 議会広報編集特別委員会
- 委員長 板川清治
 - 副委員長 本多幸男
 - 委員 岡島 功
 - 委員 福沢憲一
 - 委員 早川誠一
 - 委員 九里郁子

入善町ボランティア協議会

会長 上野幸子



昭和51年当時の社会教育課が開催したボランティア養成講座を受け、文化財愛護ボランティアとして5つのグループが誕生し、それぞれに活動していました。舟見寿楽苑、続いて新川むつみ園と福祉施設が建設

ボランティア協議会の由来

されたので、グループが一緒になって福祉活動をしようとして、昭和57年に入善町婦人ボランティア連絡協議会を発足し、現在に至っています。現在会員数は91名。昨年11月、社会福祉協議会に登録されている33団体で、入善町ボランティア友の会が発足しました。

文化財愛護活動として、沢杉林の下草刈りや木道の清掃を年3回、新屋農村資料館の展示品の整理、清掃虫干しなど年3回、文化資料館内の竹内コレクションの四季ごとの展示替え、福祉活動として、新川むつみ園での共同作業を毎月2回舟見寿楽苑へは、毎月1回の入浴手伝い、年2回の車椅子洗いと苑内清掃、一人暮らしの弁当作り等々が、

町当局や議会に 対する要望

一、男性や若者も念頭にいた養成講座と啓蒙普及
一、県、新川地区大会に町の車の利用（他市町は実施）

傍聴席からひとこと



寺崎

喜久子

（入膳）さん

久し振りの傍聴です。十年前に傍聴したきり、足を運ぶことがありませんでした。

突然、友人から電話があり、「今日ひまだったら議会の傍聴に行つて来てよ」と言われて出かけました。

午後一時過ぎ、議場に到着しました。時間通りに開会したのか、中から女性議員の声が聞えました。入口で係の職員に出席名簿に記入して下さいと声をかけられ記入しました。

そつと迷惑にならないように入場し高い場所から見下すと、空席が2つあ

るので、国会なみだなあ……と思いましたが、

ピンクのスーツを着こなした議員の質問でした。議場の中も、春だなあ……と思いました。係の人に私の知りたい件は午前中に終了したと聞かされたが私達の生活に関係の深い質問も多く、参考になりました。

これからも、時間に余裕があれば、なるべくゆつくりと傍聴したいと思いました。